

「美術Ⅱ」シラバス

教科名	対象学科	学年	科目名	単位数	必修・選択
芸術	グラフィックアーツ	3	美術Ⅱ	2	必修
使用教科書	日本文教出版 高校美術2	補助教材	参考作品・写真・映像		

1 科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習上の留意点

- (1) 生徒は美術時間の約束ごとを守り、安全で快適な学習環境の中、活動が行われる
- (2) 教師は常に机間巡視を行い、活動の段階に応じたアドバイスや実態に応じた教材の提供を行う

3 評価の方法

- (1) 評価は4つの観点（①関心・意欲・態度②思考・判断③技能・表現④知識・理解）に基づき、授業態度や出席状況、課題提出等を総合的に判断し、最終的な評価は学年末に5段階評価で行う。
- (2) 成績不良「1」の場合、追試、課題レポート提出等の結果を判断して単位認定を行う。
- (3) 学年末において、所定の出席時数を満たさない場合は、科目履修の認定はできない。

4 学習計画

学期	月	時間	題材	指導内容	備考
1	5	2	(鑑賞) オリエンテーション	美術Ⅱで学ぶこと。授業での注意事項。発想力・構想力について考える。	教科書・筆記用具
	6	4	(絵画・彫刻) 似顔絵を描こう	人それぞれの顔の特徴を理解し、観察し修正することで描き表現することを理解する。	教科書・鉛筆・ワークシート
	7	2	(デザイン) ロゴタイプ①	ロゴタイプが持つメッセージ性と制作者の意図を探る。鑑賞と評価。	鉛筆・ワークシート
	6	6	(デザイン) ロゴタイプ②	各自選んだ名称(言葉)を調べ、ロゴタイプの作成をする。デザインする目的と意図を学ぶ。	教科書・ワークシート・色鉛筆
	8	6	(デザイン) 素材を考えてつくる	それぞれの素材には、特徴があり、特性がある。素材の特性を考え、制作することを学ぶ。木材加工を行い、木材の特性を知る。	ワークシート・木材チップ・ヤスリ・のこぎり
	4	4	(映像メディア表現) 写真表現のさまざまな形	自分で撮った写真と異素材とのコラージュで自己の内面を表現する。鑑賞と評価。	教科書・カメラ・プリンター・ワークシート
2	9	2	(デザイン・表現) 希望をかたちに	グラフィックデザインについて学び、かたちとして他者に伝えることを学ぶ。	教科書・ワークシート

2	10	10	(デザイン・表現) トートバック制作 (ステンシル)	孔版(ステンシル)の技法を使い、トートバックへプリントを行う。グラフィックデザインとしての作品制作を行う鑑賞と自己評価。	教科書・ステンシルシート・ステンシルブラシ・染色用絵の具・スプレーのり・ワークシート
	11	8	(デザイン・鑑賞) ストーリーとデザイン	話の内容や絵だけではなくデザインによって読者の興味を引くにはどのような方法があるのかを考える。共同で紙芝居を制作。発表と鑑賞。	教科書・ワークシート・イラストボードB4
	12		(絵画・鑑賞) 表現の探求	切り紙絵の制作を通して、色彩と構図(レイアウト)について学ぶ。鑑賞と評価。	教科書・ワークシート・色紙・のり・はさみ・画用紙
		2	(鑑賞) 建築家のいない家	世界では場所によって家作りが違うことを知る。未来の家のスケッチを考える。	教科書・ワークシート 映像資料
3	1	10	(デザイン) 気持ちを届ける形	グリーティングカードについて知識を深める。ポップアップ技法を使いカードを制作する。鑑賞と評価。	教科書・ワークシート 画用紙・色紙・カッター ナイフ
	2 3	2	(鑑賞) 1年間のまとめ	1年間の作品を振り返り、学んだことを整理し、美術について理解が深まるようにする。	画用紙・ワークシート